

一般質問

9名が登壇 市政を問う

*この一般質問は3月4日に行われたものです。

一般質問

・防潮堤について



阿南澄男

問

東日本大震災では、海岸の防潮堤や防災林を越える大津波が発生し甚大な被害をもたらした。静岡県では、「静岡モデル」として、静岡県特有の課題への解決策として、最大クラスの津波であるレベル2の津波も含め、できる限り被害を最小化することとしているが、御前崎市での防潮堤の整備状況と課題は

答

東日本大震災の甚大な津波被害を教訓に、静岡県では第4次地震被害想定を策定し、甚大な被害をもたらす最大クラスレベル2での津波に対して、自然現象の想定結果と、人的・物的被害などが示されました。

現在、中東遠地域で実施されている「静岡モデル」と呼ばれる防潮堤整備は、松枯れした海岸防災林の再生を目的とした県が施工する治山事業と、各市が施工する堤体盛土とが協働する「ふじのくに森の防潮堤づくり事業」として実施されています。

本市の海岸防災林は、松枯れし

ていない、いわゆる枯損していない防災林が多く、現在の方法では実施が困難でしたが、県が国と協議を続けた結果、枯損していない防災林でも要件が満たされれば、治山事業で実施できる方向性が示されました。

また、本市の海岸は防災林の幅の狭い所が多く、地形的な課題もありますが、防潮堤整備については、現在詳細な課題や問題点の洗い出しなどの調査を実施していますので、その結果を踏まえ実施の可能性を探っていきます。



整備された防潮堤